

小さな発電所が 大きな一歩を踏み出しました



今後も、皆さんの力による太陽光発電所の設置を推進します

9月1日、市民の資金サポートで、おひさまNet[第1号]発電所が高城台小学校で開所しました。

この発電所は、市民の環境に対する行動を進めることを目的に設立された「おひさまNetながさき」という事業者が、市民の皆さんの出資により、設置したものです。市も場所の提供などを行っています。

今後、地球温暖化防止はもちろん、災害時に避難所となる当学校への電力供給や、環境教育などでも活用される予定です。

■問い合わせ 環境政策課(☎829-1156)

地域での支え合いが 防災・減災の鍵となります



広島での豪雨災害直後ということもあり、多くのかたが参加しました

8月30日、NBCビデオホールで、福祉防災学を専門とされている同志社大学の立木茂雄教授をお招きして、防災講演会を開催しました。

講演では、東日本大震災で、地域での見守りが必要な障害者や高齢者の被害が多かったことにふれ、普段から顔の見える支え合いのまちづくりが防災・減災に必要であることを説明。参加者は、地域の絆の大切さを再認識していました。

■問い合わせ 防災危機管理室(☎822-0480)

長崎総合科学大学と さらなる連携強化へ



今後も、連携・協力してまちづくりを進めます

8月22日、長崎総合科学大学と市が包括連携協定を締結しました。

これまで各々が持つ資源や機能などを有効活用し、地域社会の発展と地域における人材育成に取り組んできました。この締結で、今後さらにもものづくりなどの分野で連携・協力していくことを約束しました。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

市科学館 来館者250万人達成



31日には名誉館長の草野仁さんと田上市長の記念トークショーも開催

8月25日、市科学館が1997年の開館以来、来館者が250万人を達成しました。

250万人目となったのは、神奈川県鎌倉市から帰省中の中村さん親子。「科学が好きで、今日はおばあちゃんと一緒に来ました。夏休みのいい思い出になりました」と長男の天晴君は話していました。

市科学館は、リニューアルしたプラネタリウムなどで、今後も科学の面白さを発信します。

■問い合わせ 生涯学習課(☎829-2044)